

令和4年8月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 池田 幸恵

令和 4年 大山町議会議員研修会報告書

| | | | |
|---|-------------------------------|--|----------------------------------|
| 1 | 日時 | 令和 4年 8月 3日(水) | |
| 2 | 研修先 | 溪泉閣 (三朝町) | |
| 3 | 研修内容 | (内 容) | |
| | | (1) | 読まれ・信頼される議会広報のための効果的な編集・レイアウトを学ぶ |
| | | (2) | |
| | | (3) | |
| 4 | 研修結果 または 概 要(意見・ 感想) | ・編集方針やコンセプト、読んでほしい人を想定することにより編集方針が、具現化される。 | |
| | | ・表紙はシンプル&デザインを重視する。文字数は少なめ、中面を開きたくなるフレーズにすること。 | |
| | | ・特集には広聴や住民意見、住民関心度の高い案件など読者が共感し、意識変化にもつながる特集を意識するとよい。 | |
| | | ・編集、レイアウトのポイントとしてメディアの特性を生かし、連携させる。 | |
| | | 紙媒体とは違った視覚的情報伝達としての動画や音声発信、QRコードなどの活用によりバリアフリーですぐわかる広報へ。 | |
| | | また紙媒体においても文章を写真や図、絵を活用し視覚化することができる。 | |
| | | ・UDフォントの活用、書体、字間、行間。記事は何もかも載せるではなく引き算しシンプルに書き、文章をまとめる手順にも気を付ける。 | |
| | | 全国の事例や広報の情報発信の手法などについてさまざまな事例が学べた。 | |
| | | 議会活動への理解と関心を深める広報活動にするためには、常により誌面になるように、また伝わりやすい議会活動になるようには、立ち止まることなく世の中の状況を見極めながら手を加えていくことの必要性を感じた。 | |